

第十一週

龜

背中(丸みをつける)ミお腹の二枚が胴で、これに頭ミ二本の手、二本の足をつけ、真ん中に心棒があり、この心棒を上下するミ、頭、手、足が動く様に工風したもの。色は黒だから簡單。切り抜く。これから先の仕事即ち、心棒を拵へたり、之に手足を縫ひつけたり、お腹ミ脊中を縫ひつけたりの仕事は大人の仕事になる。

唱歌遊戯

第九週

唱歌 二回

オニゴッコ(エホンシャウカ)

遊戯 二回

オニゴッコ(記事参照)

二人でジャンケンをして鬼を定め、勝つたものは自由な方向に逃げてそれを鬼が追つかける。

馬

お馬の上に赤い可愛い、騎兵さんが乗つてゐるところ。心棒を動かすミ、騎兵さんが、手づなを引き、體を前後に動かす様に工風したもの。

第十二週

おぎけ人形

お人形さんが舌を出したりひつこめたりする様に工風したもの。お人形の顔はぎうにでも工風出来る。

最初の「オッカケルヨ、オッカケルヨ」の所でお互ひに拍手する時は、鬼は「さあこれからつかまへるよ」云ふ氣持、逃げる方は「こゝまでおいで、つかまへるならつかまへて御覽」云ふ様な氣持でするミ大變興味が出て來るスキップで逃げる間に鬼につかまへられたら二番をする時に鬼になる様にするミよい。

第十週

唱歌 一回

前に歌つたものゝおさらび。

遊戯 二回

子ころ子ころ(記事参照)

リズムに合せてあそびの動作をする所に、一層の快さを興味を感じる。ひっぱりっこをする時のその真剣な様子。はあく／＼手に息を吹きかけたりして負けまい一生懸命にひっぱり姿は、本當に可愛い。

第十一週

唱歌 一回

落葉の兵隊さん

可愛らしく、齒ぎれよく、元氣に歌ひたい。

遊戯 二回

落葉の兵隊さん(記事参照)

元氣よくすること。歌詞が三番まであり、前奏、間奏等を入れるとかなり運動量が多いので、男兒が殊に喜んでする。

第十二週

唱歌 二回

まがりかぎ(コドモノクニ)

倉橋先生のお作りになつた歌で、殊更に子供たちにも親しみ深い氣がする。

遊戯 三回

まがりかぎ(土川五郎氏振付)

大工さん

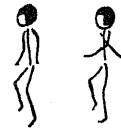
大工さんが山から大きな木を伐つて来てそれで樞を造るまでの工程を表現するのである、先づ伐つた木を仕事場へ擔いで行く。鋸で適當にきつて鉋をかけ、釘を打つ。それを繩で結へて樞が出来上り、喜んで雪の上をひつぱつて行く云ふ様子を表現する。樞を造る代りに家を建てるのにしてもよいと思ふ。力一杯出して動作をする様にした。仕事場の大工さんの様子を觀察させたいものだ。

オニゴッコ

オニケカッ
オニケカッ
ヨルケカッ
ヨルケカッ



コッゴニオケカッ
オケカッ



オニハマヒノハ
オニハマヒ
リハマトヒ



オニハマタマ
オニハマタマ
ツマノハ
チノツマ



オニゴッコ

戸倉ハル氏振付
エホンシヤウカ

準備 二人づゝ豫め組むしておく、自由な方向に進む。

オッカケルヨ オッカケルヨ

はじめにジャンケンをして鬼をきめてからすぐはじめる。二人向ひ合つたまゝその場を

動かずに歌詞に合はせて拍手三つづゝ二回行ふ。

オッカケオッカケオニゴッコ

二人ミもスキップで進む、逃げる者は鬼につかまらぬ様に、鬼は逃げる者をつかまへ様

みし、二人共一所懸命に自由な方向に進む。

オニハノヒマハリヒトマハリ

今迄逃げて来た者はしやがみ、兩掌で花を作つて上にあげ、鬼はスキップでその周圍を

一まはりする。

ソラニゲヨ ソラニゲヨ

オッカケルヨの場合ミ同じ拍手三つづゝ二度行ふ。

オニサンオイデヨコッチデス

今度は今迄ミ反對に鬼であつた方が逃げる。

オニハノマツノキマタマハル

逃げて来た方の者はしやがむで兩手を肩の幅の上にあげ松の木を作る、鬼はその周圍を

一まはりする。

子さろ子さろ



子さろ子さろ

戸倉ハル氏振付
リズムエンドダンスフォア
エレメンタリースクール

準備 四人又は五人位づゝ相向ひになり、即ち八人又は十人が

一組になる。

お互に自分の側同志手をつないでゐる。今説明の都合上一方の側を甲の側とし、それに向ひ合つた側を乙の側とす。甲の側と乙の側と合はせて一組をなしてゐるのであつて八人又は十人である。

第一小節から第三小節まで。

甲の側は手をつないだまゝ四歩前進し、乙の側の近くまで行く、四歩目の足は爪先だけを軽く床につける。

第三小節から第四小節まで。

甲の側は四歩後にさがり元の位置に戻る。

第五小節から第六小節まで。

今度は乙の側が手をつないだまゝ四歩前進する。

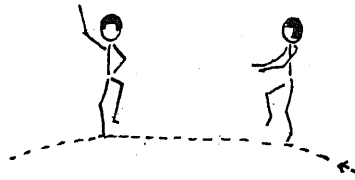
第七小節から第八小節まで。

乙の側四歩さがり元の位置に戻る。

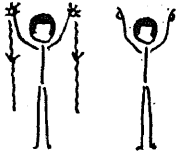
(曲は何回もくりかへして弾いてゐる)。

第一小節から第二小節まで

前奏



ニサイタイヘ ノバネオ



甲の側も乙の側も夫々一番端の向ひ合つた者が前に出て行く、他の者は自分の位置で拍手してゐる。

第三小節から第四小節まで。

前に出た二人は片手をかたく握り合つてこれから「ひつぱりっこ」をする準備の形を作る。他の者は前と同じく拍手をつゞけて二人に向つて應援する。この時誰々さんしつかり「ミロ」に出して應援してもよい。位置は必ず自分の位置を動いてはいけない。

第五小節から第八小節まで。

前に出た二人は互に力の限り引き合ふ、そして負けたら勝つた方の組にまられ、勝つた組の者ミ手をつないで又はじめから遊戯をくりかへす。

次に又一番はじめの甲の側が手をつないで四歩前進するところから行はれ、前に出て引き合ふ所では、今度は第二番目の者同志前に出る。次に又はじめからくりかへしてから第三番目が前に出る、かうして全部終つたなら最後の一曲では、甲の側も乙の側も一しよになつて手をつなぎ圓形を作つてスキップで圓周に沿つて進む。

落葉の兵隊さん 戸倉ハル氏振付

準備 一列圓形を作る。

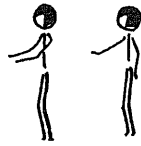
前奏

圓周に沿つて、両手を前にあげ手綱をにぎつて前進する。最後の一小節では、圓の中を

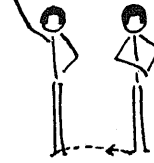
エウノカオ



シアケカ デアウオ



デバツ ラノメ スト
タテテ



タテチテト



ウゴウゴウゴウゴ
イタクニク



アハツラハ エコマヤ
エコタハ



素 向



ホッカ ホッカ ホッカ
タイヘキ



向いて止り、右手を上にあげ剣を三度ふり四度目に下におろす。

オチバナ

圓の中を向き止つたまゝで、はじめ左手を上にあげそのまゝで次に右

手をあげる、この手は人指ゆびだけひろげ他は握つたまゝ。

ヘイタイサン

上にあげた両手の指をひろげひら／＼させながらおろす。

トテチテタ

左手を腰に右手で上の方を向いてラツバを吹く、これと同時に四回足

ぶみをする。

ススメノラツバデトテチテタ

左手を腰に右手で勢よく剣を引ぬくと同時に右へ一歩進む。次に又右

手で左腰のミこころの剣を引ぬくと同時に右へ一歩進む。こうして合計

四回同じこみをくりかへす、即ち圓周に沿つて横に四歩進むわけであ

オウマデ

右を向いて右手を前にあげる。

カケアシ

左手も前にあげて手綱をつかむ。

オカノウエ

そのまゝで膝を三度かるく曲げる。

カツポカツポカツポカツポキヘイタイ

手綱を握つたまゝ、圓周に沿つて兩足揃へて前にまびつら進む。

間奏

右手を上、左手を前にあげスキップで圓周に沿つて進む。

オチバノヘイタイサントテチテタ

ススメノラツパデトテチテタ

一番ミ全く同じ。

オヤマノオソラデチュウガヘリ

各自自由な動作で宙返りの表現をする。例へば兩手を左右にのばして飛行機の翼を左へかたむけて左手を中心として左へまはり、次に右へかたむけて右手を中心として右へまはる。

ヒラヒラヒラヒラヒコウタイ

兩手を左右にのばし翼を作り右むけをし圓周にそつてラ

ンニングステップで前進するこの時翼は、はじめは内側に傾け、次に後半は外側に傾ける。

間奏

前の間奏と同じ。

オチバノヘイタイサントテチテタ

ススメノラツパデトテチテタ

一番ミ同じ。

ヤマコエハタコエハラツパデ

右向けをしその場で動かずに、兩手を肘のまゝから曲げて、タンクの進む様に大きく四回まはす、この時指はひろげてゐる、又足は手に合はせて膝を曲げたりのばしたり四回する。

ゴウゴウゴウゴウタンクタイ

兩手を前について、床にはふ様にし、次に體を手のまゝに引よせる。かうしてタンクの進む様にゆつくり圓周に沿つて前進する。

後奏

前ミ同じ。